

外来生物の適正な飼育に係る普及啓発の状況について

1. 外来生物の適正な飼育に係る環境大臣談話の公表(平成 17 年 9 月 30 日)

【談話の概要】

外来生物の野外での発見が相次いでいる状況は、大変憂慮すべき事態。

外来生物の中には、野外に放たれると人の生命・身体に危害を及ぼす危険があるものや、生態系や生活環境などに被害を及ぼすおそれのあるものがある。

外来生物の飼い主は最後まで責任を持って飼育し、ペット販売業者は購入者に「捨てない、逃がさない」というマナーを広める必要がある。

環境省としては、ホームページへの掲載や報道発表などあらゆる機会をとらえて外来生物の適正な飼育に係る普及啓発を一層進める。

【別紙 1】 本年秋以降に発見報道があった外来生物

【参 考】 普及啓発用チラシ（一般向け）

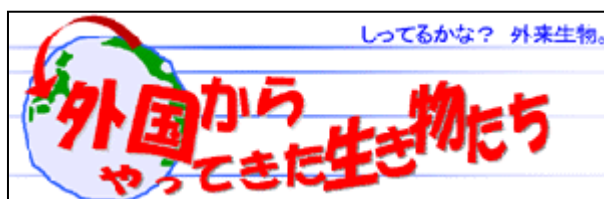
2. 外来カブトムシ・クワガタムシ 逃がさないで・捨てないで緊急キャンペーンの実施

外来カブトムシ・クワガタムシは大量に輸入・飼育が行われており、遺棄による在来の昆虫類に対する悪影響が懸念されていることから、環境省では 8 月下旬から 9 月にかけて、外国産のカブトムシやクワガタムシを野外に捨てないよう普及啓発のためのキャンペーンを行った。ポスター 1 万部とチラシを作成し、外国産のカブトムシなどを販売している専門店、ホームセンター、スーパー及び百貨店等に配布し、併せて販売時に購買者に対する注意喚起を行うよう依頼した。

【参 考】 普及啓発用チラシ（クワガタ用）

3. ホームページ上での普及啓発

環境省のホームページにおいて、外来生物法の説明ページや子ども向けのページを設け、外来生物に係る基本的な問題や外来生物の生態等について説明するとともに、外来生物をきちんと飼うことや捨てないことなどの取扱いに係る考え方を分かりやすく説明している。



4. 地方環境事務所等におけるキャンペーンの実施

10月に発足した地方環境事務所等においても、職員が外来生物を取り扱っている販売店等で普及啓発用のチラシを配布するなど、外来生物の適正な飼育に係るキャンペーンを実施している。

5. その他の普及啓発の実施状況(平成16年8月以降)

(1) 関係者に対する講演等の実施の例

- 8月4日:全国内水面漁業協同組合連合会に対する制度の概要の説明
- 8月12日:日本雑草学会シンポジウムにおける制度の概要の説明
- 9月9日:医薬品研究機関に対する制度の概要とサル類の飼養等規制の説明
- 9月10日:鞘翅学会の集会において、制度の概要説明を実施
- 9月15日:外来生物の適正な飼育に係る「環境省自然環境局長談話」
- 9月15日:外来植物のリスク評価と防除に関する研究者の会合において制度の概要を説明
- 9月17日:日本鳥学会大会において外来生物問題の自由集会に出席し、制度の概要を説明
- 9月18日:日本緑化工学会の緑化植物問題シンポジウムにおいて、制度の概要等について説明
- 9月22日:淑徳大学の市民向け公開講座において、制度の概要等を説明
- 9月30日:外来生物の適正な飼育に係る「環境大臣談話」
- 10月29日:爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会において制度に関する展示、資料配付、質疑対応を実施
- 10月9日:飼育下繁殖爬虫類・両生類の展示即売イベント(大阪市内)で、ブース展示・申請者指導等を実施
- 11月5日:(社)東京都獣医師会の研修会において制度の概要を説明
- 11月6日:飼育下繁殖爬虫類・両生類の展示即売イベント(都内)で、ブース展示・申請者指導等を実施
- 11月11日:(社)道路緑化保全協会会員に対し、制度の概要等を説明
- 12月9日:日本実験動物学会に対し、制度の概要、サルの飼養等規制について説明
- 12月10日:爬虫類・両生類関係者の集会において制度の概要を説明

その他、随時各種雑誌への記事掲載、関係機関への資料配布等を実施

(別紙1)

本年秋以降に発見報道があった外来生物

月 日	発見された生物	発見時の状況	想定される危険性
9 . 8	ダイオウサソリ 体長 15 cm	大阪府豊中市内のマンション内で発見。住民の通報を受けた警察が捕獲。	体長 30 cm以上になる大型のサソリだが、他の種類に比べ毒性は極めて弱い。
9 . 9	インドニシキヘビ 体長 4 m	埼玉県上尾市の鴨川土手で付近の住民が発見し、通報を受けた警察が捕獲。	毒はないが、大型個体に締め付けられると死亡する可能性が考えられる。
9 . 11	ボールパイソン 体長 50 cm	新宿・高田馬場で飼い主が散歩のために放し、行方を見失ったもの。	成長すると体長 2 mに達するが、毒はなく、性格は穏和。
9 . 12	ピラニア 体長 16 cm	琵琶湖で漁師が仕掛けた刺し網にかかった死体が見つかったもの。	肉食魚であり、鋭い歯によるかみつきが懸念。水温 10 以下では越冬できない。
9 . 13	ダイオウサソリ 体長 10 cm	9 . 8 の豊中市内マンションの同じ部屋で発見。警察が回収。	体長 30 cm以上になる大型のサソリだが、他の種類に比べ毒性は極めて弱い。
9 . 13	グリーンイグアナ 体長 90 cm	埼玉県上福岡市内アパート敷地で発見され、警察が保管。同市内会員のペットが逃げたものと判明。	草食で、性格は穏和。
9 . 14	ボールパイソン 体長 50 cm	J R 浦和駅のホームベンチ下に置かれた容器の中から発見。警察が保管。	成長すると体長 2 mに達するが、毒はなく、性格は穏和。
9 . 21	ワニ (種は不明) 体長 1.1m	神奈川県海老名市の相模川河川敷で発見され、警察が捕獲。	種不明につき、危険性は不明だが、一般的に肉食のワニは咬みつきによる危険が考えられる。
9 . 21	ニシキヘビ (種は不明) 体長 30 ~ 40 cm	仙台市の民家敷地内で発見され、警察が捕獲。	毒はないが、大型個体に締め付けられると死亡する可能性が考えられる。
9 . 30	アカカミアリ	博多港に入港した貨物船のコンテナから確認され、燻蒸処理による駆除を行った。	指されると激しい痛みを覚え、炎症を起こす。 [特定外来生物]

(裏面に続く)

10.3	カリフォルニアキング スネーク 体長約 1 m	神奈川県平塚市の民家の居間で住民 が発見	毒はなく、成長しても 1.5m程 度。
10.4	サソリ (キョクトウサソリ科) 体長 8 cm	本牧ふ頭の倉庫内でコーヒー豆の荷 下ろし中に発見	キョクトウサソリ科には、猛毒 を有し、生命に影響を及ぼすも のがある。[特定外来生物]
10.5	ニシキヘビ(種は不明) 体長 1 m	品川区の民家の押し入れで住人が発 見	毒はないが、大型個体に締め付 けられると死亡する可能性が 考えられる。
10.8	オオサンショウウオ 体長 66cm	川崎市の住宅街で道路を歩いている ところを発見、近くの会社役員が警 察に引き取りに現れた。	毒はないが、噛む力や尾の力が 強く、取扱いには注意が必要と される。